

お米を作る大へんさ

都万小学校 三年 安部 花な

「ごはんがおいしい」わたしは毎日思っていることです。わたしはお米が大好きです。とくにたきたてのごはんにしおをませておにぎりになると何でも食べることができるほどおいしいです。学校から帰って習いごとに向かう時にはしおおにぎりを食べます。つかれていてとパワーが出るからです。そんなパワーのでるお米は、どうやって作

られているのでしょうか。お米は田んぼからできることは学校で習いました。でも、どうやってできるか知らなかった。なので、おとうさんの友だちの田んぼで田植えの体験をすることにしました。田んぼへ行くとおいさんが待つてくれています。おいしいお米になるように、かんばろう。と言われました。田んぼの中はどろだらけなのでゆっくり入り、歩く時にも他の植えてあるなえをふまないようにしんちょうに歩きます。

す。おじさんはとても上手に植えていきますが、わたしはどろがおもくてなかなか足を動かすのが大へんでした。ちゃんとなえが植わっているのかも心ぱいで少しずつ進めることにしました。田植えを進めていくとなえを植えることかとても楽しくなり、田んぼの中も上手に歩けるようになりました。「上手になっってきたね。花なちゃんの植えたなえはきっ」とおいしいお米になるよ。と言われしました。

お米を作ることはとても大へんで田んぼの土をおこしたり水を入れたり、水がなくならないようにかんりしないといけないそうです。大へんなことも多いけど、みんなにお米を食べて元気になってもらえるとうれしい。とおじさんは言っていました。田植えをしてみてお米ができるまでの大へんさを少し感じることができました。これからはお米を作ってくれる人にかんしやしなから大すきなお米をたくさん食べていきたいです。